

官報

號外

明治二十九年三月十日

火曜日

內閣官報局

○第九回衆議院議事速記録第三十三號

明治二十九年三月九日(月曜日)午後一時三十分開議

議事日程 第三十三號 明治二十九年三月九日

午後一時開議

第一 開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ船舶出入及貨物輸出入ノ件ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第二 神奈川縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第三 長崎縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第四 新潟縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第五 山口縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第六 和歌山縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第七 福岡縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第八 佐賀縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第九 宮崎縣下郡廢置法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十 官吏恩給法及官吏遺族扶助法律案(貴族院提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第十一 東京府下郡廢置法律案(高木正年君外一名提出) 第一讀會

○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマスル

〔佐脇書記官朗讀〕

守屋此助君提出ニ係ル軍艦千島號訴訟事件ノ質問ニ對シ西郷海軍大臣ヨリ答辯アリ

衆議院議員守屋此助君提出軍艦千島號訴訟事件ノ質問ニ對シ海軍大臣ヨリ答辯書提出ニ付及御回付候也

明治二十九年三月九日 內閣總理大臣侯爵伊藤博文

衆議院議長楠本正隆殿

衆議院議員守屋此助君提出軍艦千島號訴訟事件ノ質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

衆議院議事速記録第三十三號

明治二十九年三月九日 議長ノ報告

明治二十九年三月六日

衆議院議長楠本正隆殿

海軍大臣侯爵西郷從道

(別紙)

衆議院議員守屋此助君ノ質問ニ對スル答辯書

帝國軍艦千島對英國バーク會社所有船ラベン號衝突ノ訴訟事件ハ被告會社ノ反訴ニ對シ我ノ勝訴ニ歸シ更ニ本訴ニ進マントスルニ方リ被告會社ヨリ軍艦千島ノ損害賠償金トシテ英貨壹萬磅ヲ支拂ヒ且ツ法廷ノ認許セル一切ノ訴訟費用ヲ辨償シ本件ヲ示談ニ付セラレ度旨申出タリ抑々政府ハ軍艦千島ノ沈没ノ爲メニ八拾五萬圓ノ損害ヲ蒙リタルヲ以テ右金額請求ノ訴訟ヲ提起セルモ彼阿會社ヨリ前述ノ通示談ヲ申込ミ來リ若シ我ニ於テ之ヲ承諾セサルニ於テハ彼ニ於テモ一層種々ノ手段ヲ盡シ防禦スヘク從テ訴訟進行上或ハ事實ノ如何ニ拘ハラス其結果未タ必スシモ我ノ豫期ニ違フコトナシト斷言スルヲ得ヌ加之英國商船條例ノ規定ニ依レハ一噸ノ最高責任額ハ磅ナルヲ以テ之ヲ「らべん」號ノ排水噸數三千二百五十六噸ニ乘スルトキハ總額僅ニ貳萬六千四百八磅ヲ得ルノミ故ニ我ノ勝訴ニ歸スルモ若シ該賠償金額ハ此商船條例ノ規定ニ依ルヘキモノト決スルトキハ即チ最高額前掲ノ金額ヲ得ルニ過キサルニ至ルヤモ計リ難シ而シテ本訴ヲ續行スルニハ莫大ノ訴訟費用ヲ要シ我ノ勝訴ニ歸スルモ其得ル所少金額ニシテ相償ハス然ルニ彼ヨリ賠償トシテ壹萬磅及英國法廷認許ノ一切ノ訴訟費用ヲ支拂ヒ示談ノ申込ヲ爲スニ至リタル以上ハ該衝突ノ過失我ニ在ラサル事實及我カ權利ヲ明確ナラシムルヲ以テ寧ロ之ヲ承諾シ速ニ事局ヲ結フノ愈レルニ如カサルモノト認定シ被告ノ申込ヲ承諾シ茲ニ本件ヲ全ク落著ニ歸セシメタリ

本件ノ爲ニ當初ヨリ支拂ヒタル一切ノ訴訟費用ハ拾貳萬四千參百七拾八圓餘ニシテ英法廷ノ認許セル一切ノ訴訟費用壹萬貳千七百七拾六圓餘ヲ被告會社ヨリ領收セリ

明治二十九年二月 海軍大臣侯爵西郷從道

政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

馬匹ノ調査及檢査ニ關スル法律案

貴族院ニ於テ明治二十九年年度歳入歳出總豫算追加案(甲) 鎖店銀行紙幣交換基金特別會計法第五條中改正法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒アリ

四八九

貴族院ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
北海道鐵道敷設法案

議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
明治二十二年法律第十號改正法律案

提出者

片岡健吉君 鳩山和夫君
小松三省君 前川楨造君
柏田盛文君 金岡又左衛門君
眞下珂十郎君 中村彌六君
小室重弘君

蠶種檢査法案

提出者

朝倉親爲君 西村眞太郎君
中村彌六君 荒井啓五郎君

小室重弘君外二十九名ヨリ庄内川改修ノ請願ヲ會議ニ付スヘキノ要求アリ
特別委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

明治二十七年豫備金支出ノ件外三件

審查特別委員長

大津淳一郎君
木暮武太夫君

特別委員左ノ通指名セリ

鐵道敷設上本位軌道採用ニ關スル建議案外一件審查特別委員

江原素六君 西山志澄君 市島謙吉君
新井毫君 望月右内君 改野耕三君
福田久松君 江藤新作君 磯部十藏君

齋藤長輔君外一名提出ニ係ル國界變更法律案ハ福島縣下郡廢置法律案外四件審查特別委員ニ付託ス

○議長(楠本正隆君) 茲ニ報告ヲ致スベキ事ガゴザイマス、衆議院議員江崎均君、今朝登院ノ際暴漢ノタメニ頭ノ後部ニ負傷ヲサレマシテゴザイマス、例ノ通御心得マデニ報告致シマス——是ヨリ會議ヲ開キマス、本日ハ民法修正案ノ委員會ヲ開キマスニ依ッテ、該委員長ヨリ退席ノ請求ガゴザイマス、御承認ヲ請ヒ置キマス、偕テ又次ニ追悼ニ關スル報告ヲ致シテ、弔辭ノ決議ヲ要スル事ガゴザイマス、衆議院議員百万梅治君先日來病氣デアリマシタル所、藥石效ナクシテ遂ニ逝去致サレマシタ、誠ニ追悼ニ堪ヘマセヌ次第デアリマス、依ッテ弔辭ヲ朗讀シテ決議ヲ要シマス

(佐脇書記官朗讀)

衆議院ハ議員百万梅治君ノ長逝ヲ追悼シ恭シク弔辭ヲ呈ス

明治二十九年三月九日

○議長(楠本正隆君) 右ハ全會御異議ナシト認メマス、因テ其通決シマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 偕テ百万梅治君ハ豫テ懲罰委員ノ職ヲ帶ビテ居ラレマシタ、就イテハ其元ノ所屬ノ部ニ於テ補闕選舉ヲ行ハレシコトヲ請求致シマス——次ハ請願ノ件ニ就イテ決議ヲ要シマス、伴直之助君已ムヲ得ザル事故ニ附キ二週間ノ請願、是レ亦承認ヲ請ヒマス
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、因テ其通決シマス——次ハ日程ノ第一、開港外ニ於テ外國貿易ノタメ船舶出入及貨物輸出入ニ關スル法律案、一讀會ノ續——委員長小畑岩次郎君

第一 開港外ニ於テ外國貿易ノタメ船舶出入及貨物輸出入ノ件ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員長報告)

(小畑岩次郎君演壇ニ登ル)

○小畑岩次郎君(二百三十八番) 委員會ノ經過ヲ報道致シマス、一昨日委員會ヲ開キマシテゴザイマスガ、本案ハ豫テ昨年モ本議會ニ出マシテ、貴族院ニ回リマシタ案ト略々趣意ガ同一ノモノデゴザイマス、貿易ノ擴張日々急ナル今日デゴザイマスカラ、固ヨリ必要ノ案デアリマス、唯モウ少シ範圍ヲ廣クシテ、日本臣民所有ノ船舶ノミナラズ、外國船モ雇入レテスル時ニモ之ニ加ヘヤウカト云フ人モゴザイマシタケレドモ、先ヅ本案ノ儘ニシテ置イタガ宜カラウト云フノガ多數ノ意見デゴザイマシテ、委員會ハ本案ヲ賛成スルト云フコトニ決シマシタコトデゴザイマス、尙ホ私ガ更ニ諸君ニ請ヒマスルノハ、議會モ時日モ迫ッテ居リマスルシ、本案ハ尙ホ貴族院ニ回ラナケレバナラヌノデゴザイマスカラ、別ニ變ッテ御意見モゴザイマセヌケレバ、ドウカ讀會ヲ省略シテ直チニ御決議ニナランコトヲ希望シマス
○石原半右衛門君(百九十三番) 是ハ政府委員デモ委員長デモ宜シウゴザイマスガ御尋申シタイ、此法案ノ如キハ立法部ノ權能ヲ裂イテ行政ノ方ニ任ズト云フノデアリマシテ、此積卸ヲ爲スト云フ場所ノ如キ、是ハドウモ其國ノ經濟ニモ關係スル大問題デゴザイマスガ、之ヲ強ヒテ今行政部ノ方ニ任セナケレバナラヌト云フノハ、ドウ云フ必要ガゴザイマスルカ、其必要ノ點ヲ承リタイ、ソレハ政府委員デモ宜シウゴザイマス、委員長デモ宜シウゴザイマス

(政府委員大藏省主稅局長目賀田種太郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(目賀田種太郎君) 石原君ニ御答ヲ致シマス、從來此特別輸出港ノ規則ハ法律ニ爲ッテ居リマスル、併ナガラ是ハ先ヅ一時ノ性質ノモノデ

ゴザリマシテ、要スルニ稅關法ヨリ取除ケテ設ケタニ過ギヌノデアリマス、此度一般ノ制度トシテ斯ノ如ク將來ニ能ク發達スベキ港ヲ制定スルニ當リマシテハ、要スルニ道路ヲ設ケルト同ジコトデゴザリマスルガラシテ、之ヲ行政命令ヲ以テ定メマシテ、能ク其貿易ノ實勢ニ應ジテ之ガ開閉ヲ容易ナラシムルヲ必要ト致シマスルニ依ツテ、此案ヲ提出シテゴザイマスル

〔議會省略〕ト呼フ者アリ〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 該案ハ二名ノ反對通告ガゴザリマスル、免ニ角反對ガアル以上ハ順序ノタメニ……

○吉本榮吉君(八十二番) 反對ガアツテモ宜シイ、議會ヲ省略シテ……

〔ノウ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) サリナガラ、議院ノ德義モアリマスル、第二議會ノ時ニ議會ノ省略ヲ請ヒマスル——佐藤忠望君

〔佐藤忠望君演壇ニ登ル〕

○佐藤忠望君(二百二十五番) 諸君、私ハ此法案ニ對シテ反對ノ意見ヲ有スル者デゴザイマス、唯今石原君ノ質問ニ對シテ政府委員ノ答ヘラレマシタ所ヲ聽キマスルニ、此開港外ニ於テ貿易ノタメ出入スル所ノ船舶ノ——出入スル所ノ港ヲ定ムル如キハ、如何ニモ此時機ニ從ツテ發動ヲ要スルモノデアラルカラ、行政命令ヲ以テ定ムルト云フ御答デゴザイマシタ、ケレドモ元來此開港場及此法案ノ如キ、準開港場ノ如キハ、之ヲ開クニモ之ヲ閉スニモ、サウ其容易ニ爲シ得ベキモノデハナイト思フ、ナゼナレバト申シマスルト、港ヲ開クト言ツテモ、ナカク之ガ準備ノアル事デアラウ、或ハ倉庫ノ建築トカ、或ハ稅關ノ出張所ヲ設ケルトカ、サマクノ準備ノアル事デアツテ、容易ニ開閉シ得ベキモノデアアルマイ、殊ニ事外國ニ關係ヲ及ス所ノ重大ナルモノデアツテ、之ヲ勅令ヲ以テ定ムルト云フヤウナ事ハ、如何ニモ其當ヲ得ナイ事デアラウト思フノデアアル、且ツ此第一條ノ「開港外ニ於テ外國貿易ノタメ帝國臣民所有ノ船舶ノ出入及貨物ノ輸出入ヲ爲スヘキ港ハ云々」トゴザイマス、ケレドモ此帝國臣民ノ所有船舶ト云フコトハ、如何ニモ望マシキ事デハゴザイマス、ケレドモ是ハ單ニ僅々二年ノ間ト云フコトニ止マリマシテ、御承知ノ如ク、彼ノ條約施行ノ曉ニ爲リマシタナラバ、即チ彼ノ新ニ取結ビマシタ所ノ條約施行ノ曉ニ爲リマシテハ、我帝國船舶ノ外國貿易ノタメニ出入スル所ノ港ハ、從ツテ又外國ノ船モ同様に出入ヲスルコトヲ得ルト云フノデ、日英條約ノ第八條ニモ明文ノ掲ゲテアル通デ、其處ヲ此帝國臣民ノ所有船舶ニ限ルト云フヤウナコトハ、僅々三四年ノ間ニ限ルコトハ、モウ申スマデモナイ事デアラウト思フ、サウシテ見マスルト、是ハ唯今デコソ開港ト云フ名稱ハ當リマセヌケレドモ、此條約施行ノ曉ニハ、純然タル開港場ト爲ルコトハ、モウ申スマデモナイ事デアラウト思フ、斯ノ如ク勅令ヲ以テ、ドンク

トハ、モウ申スマデモナイ事デアラウト思フ、斯ノ如ク勅令ヲ以テ、ドンクト、到ル處ニ港ヲ開クト云フコトニ相成リマシタナラバ、如何ニモ其開港場近傍ノ土地ハ、一時繁榮ヲ極ムルト云フヤウナコトモゴザリマセウ、其一地方ノタメニ考ヘマシタナラバ、如何ニモ其地方ノ幸福カモ知レマセヌ、併ナガラ此日英條約ニ依ツテ見マシタナラバ、御承知ノ通彼ノ現開港場間ノ航海權ト云フモノハ外人ニモ與ヘテアル、ソレデ各開港場間ヲ自由自在ニ彼等外人ニモ本航海權ヲ與ヘテアツテ見マシタナラバ、此我沿海ノ航海權ヲ遂ニ彼外人ノタメニ奪ハレテシマフト云フヤウナ恐ハゴザリマスマイカ、併ナガラ條約ノ明文ニハ「現」ト云フ文字ガアル、此條約締結ノ當時開イテアル所ノ港ノ外ニハ、此航海權ヲ許シタモノデナイト云フコトハ、如何ニモ條約ノ明文ニハ明ニ見エテ居リマス、見エテハゴザリマスルガ、唯此「現」ノ一字ヲ以テ此現内閣ハ飽クマデモ新ニ開イタ港ニ就イテ其航海ヲ許サヌト云フコトハ爲シ得ルヤ否ヤ、甚ダ私ハ懸念ニ堪ヘヌノデアリマス、曩ニ明治二年ニ伊太利匈牙利利ト取結ビマシタ條約ニモ、誠ニ曖昧ナル文章デアアリマスガ、能ク其文意ヲ玩味シテ見マスレバ、決シテ沿海ノ航海權ヲ與ヘタモノデナカッタノデアアル、併ナガラ文章ノ曖昧ナルガタメニ、ソレニ附ケ込マレテ遂ニ彼ノ我沿海ノ航海ヲ彼等外人ガ自由ニ致シタ例モアルノデアアル、斯ノ如キ事ニ依ツテ見マスレバ、唯此「現」ト云フ一字ガアルガタメニ、飽クマデモ拒絕シ得ルヤ否ヤト云フコトハ、現内閣ニ對シテ吾々ハ到底其信ヲ措クコトハ出來ナイノデアアル、漸ウ々發達致シ掛ツタ我國ノ航海業モ、彼ノ外人ノタメニ奪ハル、ト云フコトデアアルナラバ、前キニ航海獎勵法案ト云フヤウナモノヲ決シテ、遠ク海外ニ航路ヲ開クト云フヤウナコトヲ致シマシテモ、我領海ノ航海權ヲ外人ニ奪ハル、ト云フヤウナコトデアアリマシタナラバ、到底是レ亦内固メズシテ、外ニバカリ出シタ所ガ到底仕方がナイモノデアラウト思フ、私ハ斯ノ如キ恐レアル法案ヲ此ニ輕々決議スルト云フヤウナ事ハ、甚ダ將來ノタメニ私ハ憂慮ニ堪ヘナイノデアアル、故ニ是ハ法律ヲ以テ規定スルナラバマダシモノコトデアリマスガ、勅令ヲ以テドンク此港ヲ開クト云フコトハ、此法案デ規定シテ置クト云フヤウナコトニ至ツテハ、益々其危險千萬ナルコトハ、申スマデモナイコトデアラウト思フ、私ハ飽クマデモ斯ノ如キ法案ハ宜シク否決セラレンコトヲ希望ノ至ニ堪ヘマセヌノデアリマス

○議長(楠本正隆君) 石原半右衛門君

○石原半右衛門君(百九十三番) 贊成ガアリマスカ

○小畑岩次郎君(二百三十六番) 私ハ贊成ノ意見ヲ簡單ニ述べヤウト思ヒマス

○恒松隆慶君(五十番) 私モ贊成デアリマスガ、止メマスカラモウ宜シイト

シテ、討論終結ニナランコトヲ希望シマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ討論終局ノ動議ハ問題ニ爲リマシタ

○谷澤龍藏君(百六十二番) 本員ハ委員長ノ説ヲ贊成致シマス、少シ理由ヲ是カラ述べタウゴザリマス

○議長(楠本正隆君) 討論終局ガ問題ニ爲リマシタ——討論終局ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數デアリマス、因テ討論ハ終局ト爲リマシタ、是ニ於テ該案ノ第二讀會ヲ開ク如何ノ決議ヲ採リマス——二讀會ヲ開クコトニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ二讀會ヲ開クニ決シマス

○吉本榮吉君(八十二番) 直チニ二讀會ヲ開キ、而シテ三讀會ヲ省略シテ決議センコトヲ希望シマス

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニハ御異議ナシト認メマス——直チニ二讀會ヲ開キマス、朗讀ヲ省イテ議題ニ供シマス、而シテ讀會省略ハ是レ亦御異議ナシト認メマス——別段御討議ガナケレバ原案ハ確定ヲ報シヤウト思ヒマス

開港外ニ於テ外國貿易ノ爲メ船舶出入及貨物輸出

確定議

入ノ件ニ關スル法律案

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 然ラバ原案ノ通過確定ヲ報シマス

○石原半右衛門君(百九十三番) ドウ云フコトニ爲リマシタカ

○議長(楠本正隆君) 讀會省略デ確定ニ爲リマシタ——次ハ第二、神奈川縣下郡廢置法律案

第二 (神奈川縣下郡廢置法律案)

第一讀會ノ續 (特別委員長報告)

○吉本榮吉君(八十二番) 第二ヨリ第九マデハ郡ノ廢置ノ法律案デアリマス、是ハ重大ナ法律案デアリマスカラ從ツテ緊急ヲ要シマス案デアリマス、且ツ單純ナ法律案デアリマス故ニ、此第二ヨリ第九マデハ各、讀會ヲ省略シテ直チニ確定スルコトニ此ニ極メテ置キタイ、ソレカラ委員長ガ報告セラルルニモ、此第二、第三、第四ハ一度ニ、第五、第六モ一度ニ、第七、第八、第九モ是レ亦一緒ニ委員長ガ報告ニ爲リマスヤウニ致シタウゴザリマス、勿論是ハ別々デアリマスガ、登壇セラレタ際ニ降壇セズニ報告アルヤウニ致シ

〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 日程ノ第二ヨリ第九マデニ就イテハ讀會省略ヲ豫メ決議シ置カウト云フノガ吉本君ノ動議

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 然ラバ全會御異議ナシト認メマス、因テ其通豫メ決シテ置キマス、是ヨリハ委員長ノ報告ヲ促シマス

○橋本省吾君(百十九番) 議長

○議長(楠本正隆君) 委員長ノ報告ヲ促シマシタ

○橋本省吾君(百十九番) 其報告ニ就イテマス

○議長(楠本正隆君) 然ラバ百十九番

○橋本省吾君(百十九番) 茲ニ掲ゲテゴザイマス神奈川、長崎、新潟此三ツハ吾々ガ委員トシテ付託サレマシタガ、今日ハ委員長、理事ガ閣席ヲシテ居リマセヌ、ソレ故ニソレニ代ッテ本員ガ委員トシテ報告ヲシヤウト思フノデス、如何デゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 宜シウゴザイマス、御報告ガアレバ登壇ヲ促シマス

〔橋本省吾君演壇ニ登ル〕

○石原半右衛門君(百九十三番) 決算委員會ヲ開キマスカラ席ヲ離レマス

○議長(楠本正隆君) 石原半右衛門君ヨリ決算委員會開會ノタメニ閣席ノ請求ガアリマス、御承認ヲ請ヒマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 第二、第三、第四マデノ報告ヲ併デセラレマスヤウニ……

○橋本省吾君(百十九番) 諸君、私ハ委員長ニ代ッテ神奈川、長崎、新潟三縣下ニ於ケル郡廢置ノ法案ニ對シマシテ、委員會ノ經過及結果ヲ報道致シマス、委員長ハ過日議長カラ報告致サレマシタ如ク、櫻井勉君、理事ハ秋岡義一君ガ當選セラレマシタ、今日ハ閣席セラレテ居リマスカラ、本員ガ委員ノ一人トシテ、詰リソレニ代ッテ御報道致ス積デゴザリマス、本案ニ於キマシテハ、唯今議長ノ宣告ノ通、三ツヲ一ツニ列ネテ報道致シマスガ、是ハ各縣下共ニ其縣民ノ望ム所デゴザリマシテ、委員會ニ於キマシテモ聊カ異議モゴザイマセヌ、即チ委員全體ノ——全會一致ヲ以テ本案ヲ可決ヲ致シマシテゴザリマスルカラ、本會ニ於キマシテモ、速ニ御可決アラフコトヲ希望致シマス

○大田信一君(九十二番) 私ハ一應政府委員ニ向ッテ質問ヲ致シタイト思ヒマス、此唯今議題トナッテ居ル所ノ郡分合法案デゴザイマスルガ、此法案

ヲ提出サレタ政府ノ精神ト云フモノハ、固ヨリ郡制及府縣制ヲ實施スルノ準備タルコトハ、既ニ過日モ或ル政府委員カラ述ベラレテアルカラ明ナ事デアリマスルガ、是ニ就イテ一應政府委員ニ御尋ネヲシテ確メ置キタイト云フノハ、即チ現ノ縣會議員等ノ件デアリマスガ、此法案ガ兩院ヲ通過スルニ於テハ、即チ四月一日ヨリ之ヲ施行スルコト云フコトニ爲ッテ居ル、然ルニ其郡制及府縣制ヲ實行スル場合ニ方ッテモ、幾分カ其準備ノタメニ時日ヲ要スルデアラウト思フ、其場合ニハ無論明治二十三年九月法律第八十四號ヲ適用シテヤルト云フ政府ノ御見込デゴザイマスルカ、其邊ヲ一應確メテ置キタイト思ヒマスカラ、茲ニ質問ヲ提出致シマス

○政府委員(木内重四郎君) 御見込ノ通デアリマス

○議長(楠本正隆君) 日程ノ第二ニ附キ決議ヲ採リマス

第二 神奈川縣下郡廢置法律案(政府提出) 確定議
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 御動議ガナクバ、該案ノ確定ヲ報シマス、次ハ日程ノ第三

第三 長崎縣下郡廢置法律案(政府提出) 確定議
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 是亦御異議ナキヲ以テ確定ト決シマス、次ハ第四ノ日程ニ移リマス

第四 新潟縣下郡界變更及郡廢置法律案(政府提出) 確定議
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 是レ亦御異議ナキヲ以テ確定ヲ報シマス——次ハ日程ノ第五

第五 山口縣下郡廢置法律案 第一讀會ノ續(特別委員)
〔小鷹狩元凱君演壇ニ登ル〕

口ト和歌山トノ此兩縣杯ハ、至ッテ簡單ナ事デゴザリマシテ、ドチラモ諸君ノ御手許ニゴザリマスル議案ノ如ク、唯僅ナ改正デ、二郡ヲ一郡ニ併スト申ス、是モ緣故ガ是マデ十分ニ附イテ居ル議案デモゴザリマスルシ、又是マデモ一郡役所ノ下ニ止マッテ居ルト云フヤウナコトデゴザイマシテ、此兩縣カラ御出ニナッテ居ル所ノ代議士ノ方モ、委員ノ中ニ御出ニナリマシタデ、委シク御尋申シマシタ所ガ、此事ハ縣下ニ於テ、聊カ他日ニ於テ苦情等ノ出ルコトモナイト云フ御話デモゴザリマスシ致シマシテ、委員ニ於キマシテ討究ノ上孰モ異議ガゴザリマセズ致シマシテ、全會一致ヲ以テ、山口ト和歌山兩縣下ノ郡廢置法律案ハ決定致シマシテゴザリマスルカラ、速ニ御決議アラントヲ希望致シマスル、因テ御報告ヲ……

山口縣下郡廢置法律案 確定議

○議長(楠本正隆君) 日程ノ第五ニ就イテハ御異議ナシト認メテ宜シウゴザイマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 然ラバ確定ヲ報シマスル、是ヨリ第六ニ移リマス

第六 和歌山縣下郡廢置法律案(政府提出) 確定議
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 是亦御異議ナキヲ以テ確定ヲ報シマス、次ハ第七

第七 福岡縣下郡廢置法律案 第一讀會ノ續(特別委員)
〔鈴木重遠君演壇ニ登ル〕

○議長(楠本正隆君) 日程ノ第七、第八、第九此三ツヲ併セテ報告致サレマス

○鈴木重遠君(五十一番) 福岡、佐賀、宮崎三縣ノ郡廢置法律案デゴザイマスルガ、其委員ノ審查ヲ致シマシタ結果ヲ御報告ヲ申上ゲマスルガ、此三縣下共ニ、其地方カラ選出ニ相成リマシタ議員モ委員ノ中ニ御加リデゴザイマシタカラ、備ニ其地方ノ地形、民情ヤ何カモ段々話合ヲ致シマシタ所ガ、此原案ノ通ニ可決致シマスル方ガ、郡制ヲ追々執行ニナリマシテ、行政上機關ノ運轉、竝ニ郡ノ自治力ノ上ニ就キマシテ、大ニ都合ガ宜シカラウト申シマスルコトニ委員會一致デ可決ヲ致シマシタデ、三縣下共ニ原案ノ通御贊成アラントヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ決議ヲ要シマスル、第七ニ就イテ……

福岡縣下郡廢置法律案 確定議

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 御動議ナクバ確定ト致シマスル——ソレヨリ第八ノ日程ニ移リマス

第八 佐賀縣下郡廢置法律案

確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 是レ亦異議ナキヲ以テ確定ト致シマスル、次ハ第九

第九 宮崎縣下郡廢置法律案

確定議

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ日程ノ第九モ確定ト爲リマシタ、次ハ第十、官吏恩給法及官吏遺族扶助法律案第一讀會ノ續——委員長藤金作君

第十 官吏恩給法及官吏遺族扶助法律案

第一讀會ノ續(特別委員 則法律案(貴族院提出) 長報告)

(藤金作君演壇ニ登ル)

○藤金作君(二十四番) 官吏恩給法、及官吏遺族扶助法律案ノ審查特別委員會ニ就キマシテ、二月二十五日ニ委員長及理事ノ選舉ヲ致シマシテ、委員長ニ不肖藤金作、理事ニ河北勘七君ガ當選ニ爲リマシタ、續イテ審查會ヲ開キマシタ所ガ、本案ハ貴族院ニ於テ決議ヲシテ本院ニ回サレマシタモノト、又衆議院ニ於テモ此補則法案ノ必要ヲ認メテ、本年ハ提出ヲ致シテ居リマス、併テ審查ヲ致シタ結果ヲ報道致シマス、貴族院提出ノ決議案ノ通審查會ハ總テ必要ト認メテ、全會一致ヲ以テ結了致シマシタガ、尙ホ第五條ノ一項ヲ挿入スルコトヲ必要ト認メテ、修正ヲ致シテ居リマス、然ルニ此第五條ニ就イテ少シ活版ノ誤謬ガアリマスルカラ、御訂正ヲ願ヒマス、第五條ニ「郡區書記ノ退官シテ」トアル、此九文字ヲ削ルコトニシテ戴キタイ、ソレカラ「再ヒ」ト云フ二字ヲ又御削リヲ願ヒタイ、其次ニ「其間恩給」ノ下ノ所ニ「ノ支給」トアル、此三字ヲ御削リヲ願ヒタイ、サウシテ之ヲ讀ミマスルト「第五條恩給ヲ受クル者郡區書記ニ任用セラレタルトキハ其間恩給ヲ停止ス」ト、斯ウナリマス、此官吏恩給法、及官吏遺族扶助法律ノ儀ハ、是ハモウ聊ナル關係ノモノデゴザイマスルケレドモ、又一般ノ法律ノ上カラ見マス、甚ダ不完全ナモノニ本法ガナッテ居リマスカラ、此補則法案ノ必要ヲ生ズル譯デアリマスルガ、此案ハ貴族院ニ於テハ、第六議會ニ提出ニ爲リマシテ、貴族院ハ之ヲ決議シテ居ル際ニ、不幸ニシテ衆議院ハ解散ニ爲リマシテ、全ク消滅致シマシタ、ソレカラ續イテ第八議會ニモ、貴族院ヨリ提出ニ爲ッテ、決議ノ上本院ニ回サレマシタガ、本院ニ於テ之ヲ讀スルニ方リマシタ所デハ、本院ハ昨年日清戰爭ノ場合デアリマシテ、非常ナル軍事費ノ決議、其他日清戰爭ノ際ニ重大ナル關係アル事ニ就イテ、政府竝ニ議院モ非常ニ慎重ノ場合

デアリマシテ、斯ノ如キ些々タル法律案ハ此場合ニ於テ讀スルノ必要ハナイ、必要ハアッテモ暫ク是ハ延シテ置イテモ、差支ナイト云フ所ノ單純ナル理由ヲ以テ、否決ニ爲ッテ次第デゴザイマス、所デ、又ハ貴族院ハ本年モ是ヲ提出シテ本院ニ回シテアルノデゴザイマス、デ、是ハ一々其理由ヲ述ベマセズトモ、諸君ハ御案内デアリマセウト思ヒマスルケレドモ、此法案ノ甚ダ不備ナル所ヨリシテ、大ニ官吏恩給法ニ不權衡ヲ被リマシテ甚ダ惘然ナル場合ガアリマスルカラ、是ハ本年ニ於テハドウカ一ツ決議ヲシタイト云フコトハ、委員會デハ皆一同認メタ次第デゴザイマス、其理由ノ大略ヲ述ベマスルト、官吏恩給法ノ中ニ、第九條ノ第三項ニ「郡區書記ヲ除クノ外」云々トアッテ、此地方稅ノ俸給ヲ受ケタ所ノ者ハ、其年月ヲ取除イテ官吏恩給法ノ年數ニ加フルコトニ爲ッテ居リマス、郡區書記タケハ渡スゾ、斯ウ爲リマスルト郡區長ハ此法律ノ恩典ニ浴セナイコトニ爲ッテ居リマス、明治二十三年ノ法律第四十三號ヲ制定スルトキ、立法者ガ郡區長ハ當時既ニ政府ヨリ俸給ヲ受クル事ニ爲ッテ居マシタカラ、郡區長ニ關係ノアル事ハ心付カズシテ、其際法律ガ成立ッタモノト思ハレマス、ソレ故ニ郡區長ニ對シテハ、地方稅ノ俸給ヲ受ケタ所ノ年月數ヲ除キマシテ、ソレヨリ勤務年限ヲ計算致シマスカラ、郡區長ハ此恩典ニ與カラズシテ、郡區書記ハ此恩典ニ與ルト云フ所ノ不權衡ヲ來ス次第デゴザイマス、デ、此第一條大體ノ趣意ハ盡シテ居リマスレドモ、是ヨリ關係ヲ及シマシテ、已ムヲ得ズ第二條以下ノ條項ヲ必要トスル場合ガ生ジマシテ、且ツ又第三條ニハ此關係アル人ガ退官ノ後死去ニ罹リマシテ、其遺族ニ扶助ヲ與フルコトガ出來ナイ譯ニ爲ッテ居リマス、從ッテ遺族扶助法案ノ第四十四號ノ法律ニモ關係ヲ及シマスカラ、併セテ本案ヲ必要ト致シマス、且ツ貴族院ニ於テ第六議會、第八議會、又本年ノ議會ニモ異議ナク通過ヲ致シマシテ居リマスルケレドモ、能クミ調査ヲ致シマスルト云フト、第五條ノ關係ヲ及シテ來タ次第デゴザイマス、是ハ又幸ニ本院ニ於テ決議ニ爲リマスレバ、貴族院ニ送ッテ、貴族院ノ同意ヲ求メタイ關係ガ生ジマス、其理由ハ唯今デハ郡區書記ト郡區長ト比シマスルト、郡區書記ハ大變ナル此恩典ニ利益ノアル譯ニ爲ッテ居ルハ、ドウ云フ譯カト申シマスルト、郡區書記ハ此恩給ヲ受クル者ニシテ、又再ビ郡區書記ニ任用セラレタトキハ、恩給ト竝ニ其職務ニ對スル俸給ヲ受ケマスルカラ、一方ニハ恩給ヲ受ケ、一方ニハ相當ノ月給ヲ取ルト云フコトニ爲リマス、郡區書記ハ二重ニナル譯ニナッテ、郡長ハ之ヲ取ラナイ、郡區書記ハ二重ニ之ヲ取ルト云フ關係ニ爲ッテ居リマス、又總テノ判任官ニシテ、判任官ノ恩給ヲ受ケル者ニ致シマシテモ、此再ビ判任官ニ——政府ノ俸給ヲ受ケル官吏ニ就職スル時分ニハ其恩給ハ受ケ得ラナイ譯デアリマスガ、其官吏ガ郡區書記ニ爲リマシ

タ場合ニハ、唯今ノ法律ノ儘デハ政府ノ恩給ヲ受ケテ、又郡區書記ノ俸給ハ當然ニ受ケテ居ルコトガ出來マス、斯ウナリマスト郡區書記ハ大變ノ幸福ヲ受ケテ、甚ダ不權衡ヲ來シマスカラ、貴族院ノ決議ニ對シテハ、衆議院ニ於テハ此第五條ヲ以テ一項ヲ設ケルコトノ必要ヲ認メテ居リマス、ドウゾ本案ハ聊カノ關係デアリマスケレドモ、其當人ニ於テハ數年間郡區長ノ職ニ在ッテ、多クハ此滿年恩給ヲ受クルヤウナハ、其地方デハ大ニ德望ノアル人、又強チ斯ウ云フ人ハ富裕ニアルデモナク、隨分困難ナ人モアラウト思ヒマスカラ、ドウゾ是ハ滿場諸君ノ御贊成アラント希望シマス

○高木正年君(百二十九番) 御尋致シマスガ、此修正ニ爲リマシタ第五條ノ中デ「再ヒ郡區書記」トアル、此區ノ字ハ必要ハナイカト思ヒマス、市制、郡制ヲ施カレルヤウニナリマス云フト此……

○藤金作君(二十四番) ソレハ最前訂正ヲ致シテ述置キマシタノデス

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマスル、該案ニ對シ二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ二讀會ヲ開クコトニ決シマシタ

○吉本榮吉君(八十二番) 本案ハ直チニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ省略スルコトヲ望ミマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○恒松隆慶君(五十番) 是ハ法律ノ不備ヲ補フト云フヤウナモノデアッテ、格別議論ノアルコトデモナイト思ヒマスカラ、讀會ヲ省略シテ直チニ確定セラルンコトヲ希望シマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フ吉本君ノ動議ニハ、御異議ナシト思ヒマス

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 然ラバ直チニ二讀會ヲ開キマス——讀會ヲ省略ノ恒松君ノ動議ニモ亦御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長(楠本正隆君) 異議ナクバ確定ノ決議ヲ採リマス

官吏恩給法及官吏遺族扶助法補則法律案

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナクバ、委員會ノ修正通該案ノ確定ヲ報シマス

次ハ日程ノ第十一ニ進ミマス、東京府下郡廢置法律案第一讀會、朗讀ヲ省キマス

第十一 東京府下郡廢置法律案(高木正年君外一名提出)

〔左ノ議案ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス〕

東京府下郡廢置法律案

東京府南豐島郡東多摩郡ヲ廢シ其ノ區域ヲ以テ豐多摩郡ヲ置ク

○高木正年君(百二十九番) 簡單デアリマスカラ此席ヨリ申シマス、此案ハ一體二十三年ノ第一期議會ノ時ニ政府ガ提出シタ部分合法案ノ一番初ニ書イテアッダノデアルガ、何故デアルカ今年ノ廢置法案ニハ落チテ居ル、吾々ハ甚ダ不思議ニ思フノデ、而シテ本員ガ之ヲ提出シナケレバナラヌト云フ譯ハ、一體郡制ヲ施カレマシタ當時カラ、全國ノ首府デアル東京府ニ於テ、何故ニ郡制ヲ施カザルカト云フコトハ、則チ二郡ノ合併ガ成立タザルガタメニ今日マデ郡制ヲ施カナイノデアルト云フコトデアル、併シ土地ニ於テハ少モ苦情モナク今日マデ至ッテ居ルノデ、既ニ大阪府下郡廢置法律案ガ出マシタ上ハ、勢ヒ東京府下ノ此郡廢置ト云フコトニ於テモ最モ必要ノ事デアラウト思フノデアリマス、此事ハ少モ苦情ノナイ事デゴザイマスケレドモ、尙ホ念ノタメニ委員付託ヲ致シタク思ヒマス、併シ特ニ委員ヲ選ブト云フ必要モナイカト思ヒマスカラ、是ハ大阪府下郡廢置法律案ノ委員會ニ付託シテヤリタイト思フノデゴザイマス

○政府委員(木内重四郎君) 東京府下ノ此東多摩南豐島ノ兩郡ニ對シテハ、新ニ一郡ヲ置クト云フコトハ、政府カラモ提出スル意見ヲ有シテ居リマス、政府ノ意見ヲ表明シテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 大阪府下郡廢置法律案ノ委員ニ付託スルト云フ提出者ノ意見

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、因テ共通ニ致シマス、是ニ於テ明日ノ日程ヲ報シマス

〔佐協書記官朗讀〕

議事日程 第三十四條 明治二十九年三月十日(火曜日)

午後一時開議

第一 河川法案(政府提出) 第一讀會

第二 右讀案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會ノ續(特別委員)

第三 酒造稅法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第四 自家用酒稅法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第四 混成酒稅法案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

第六 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)

- 第七 明治十九年勅令第六十一號稅率改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第八 牛馬賣買免許稅規則其他廢止法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第九 烟草稅則中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第十 醬油稅則中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第十一 輸入棉花海關稅免除法律案(政府提出) 第二讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 第十二 酒精營業稅法中改正法律案 第一讀會ノ續(特別委員)(長報告)
- 議長(楠本正隆君) 是ニテ散會ヲ報シマス
午後二時二十七分散會

衆議院議事速記録第二十九號正誤

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
四二三	上	二	(丁)	(庚)	四二三	欄外		(丁)	(庚)
四二三	上	二	(庚)	(丁)	四二三	欄外		(庚)	(丁)

衆議院議事速記録第三十二號正誤

頁	段	行	誤	正	頁	段	行	誤	正
四七四	上	一七	ノ如キモノヲ以テ	ヲ以テ本法施行	四八三	上	三八	ノデ	所
四八三	上	二七	シテ行ク	縮リ	四八三	下	二九	困ガ	困難ガ
四八三	上	二八	ヲ常例	條例	四八四	上	二三	ナラバ	ナラズ
四八三	上	三四			四八五	上	一六	アツテモ	アリマセヌ